



システム構成/環境構築ガイド (構築資材管理機能編)

astroll システム 環境構築マニュアル

— 第1.0版 —

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・ LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Oracle、MySQLは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ MariaDBは、MariaDB Foundationの登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

astrollの正式名称は「astroll IT Automation」になります。

目次

1	はじめに	3
2	構築資材管理機能の概要	3
3	システム構成	4
4	システム要件	5

1 はじめに

本書では、astroll の構築資材管理機能を運用する為のシステム構成と環境構築について説明します。

構築資材管理機能を利用するにあたっては、astroll の基本機能が構築済であることが前提です。astroll 基本機能の構築に関しては、「[環境構築ガイド\(基本編\)](#)」をご覧ください。

2 構築資材管理機能の概要

構築資材管理機能には以下の用途があります。詳細は「[利用手順マニュアル_astroll_構築資材管理機能](#)」をご覧ください。

表 2-1 構築資材管理機能の概要

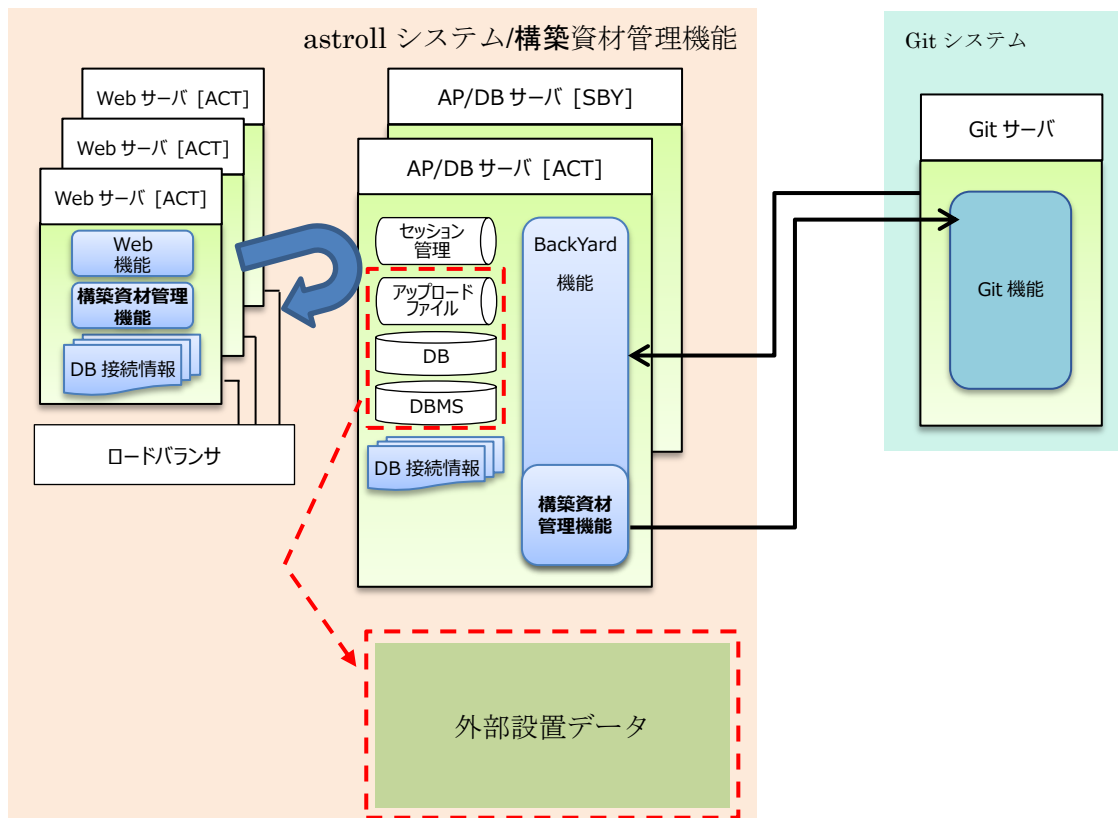
No	機能名	用途	WEB コンテンツ	BackYard コンテンツ
1	構築資材管理機能	標準構築ツールに登録された資材の払出 / 払戻と、Gitを介して対象資材のバージョン管理を行います。	○	○

3 システム構成

Gitについては、astroll システム/構築資材管理機能とは別に Git 専用サーバを用意する構成が考えられます。
(一つのサーバにコンソリデーションする構成も可能です。)

ここでは、astroll システムの推奨構成であるバランス HA 型に Git サーバを付加した構成を図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「[環境構築ガイド\(基本編\)](#)」を参照してください。



4 システム要件

構築資材管理機能のシステム要件は以下となります。astroll システムのシステム要件に準拠するため、「[環境構築ガイド\(基本編\)](#)」を参照してください。

- AP/DB サーバ

表 4-1 AP/DB サーバのシステム要件

パッケージ	バージョン	注意事項
PHP	5.6	

- Web サーバ

表 4-2 Web サーバのシステム要件

パッケージ	バージョン	注意事項
PHP	5.6	

- Git サーバ

表 2-3 Git サーバのシステム要件

パッケージ	バージョン	注意事項
Git	1.7.1(RHEL ¹ 6)	左記のバージョンは動作検証済みのバージョンです。
	1.8.3.1(RHEL7)	

¹ Red Hat Enterprise Linux